

2016
5/27
第135号

議会だより のだ

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp/>
Eメール gikai@vill.noda.iwate.jp

平成28年3月 第3回定例会

- 3月定例会のあらまし P 2～3
- 予算特別委員会 主な質疑内容 P 4～5
- 一般質問 4人が登壇 P 6～13
- 定例会 討論 P 14
- 2月臨時会 & 3月定例会採決一覧 P 15
- 議会の動き
東日本大震災津波復興特別委員会 P 16

難しいなあ～

種駒打ち体験 4月28日
野田小学校3学年がシイタケの種駒打ちの体験学習を行いました。シイタケ生産者から説明を受け、打ち込みに悪戦苦闘しながらも体験を楽しみました。

総額81億円可決 ~平成28年度予算~

3月定例会

3月定例会は、3月2日～9日の間で開催され、平成28年度予算をはじめ条例案や補正予算案等を審議しました。

決算特別委員会は、3月7日と8日で行われ、一般会計および8つの特別会計を慎重審査し、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。

一般質問は4名が登壇し、村政に鋭く切り込みました。(6～13ページ)

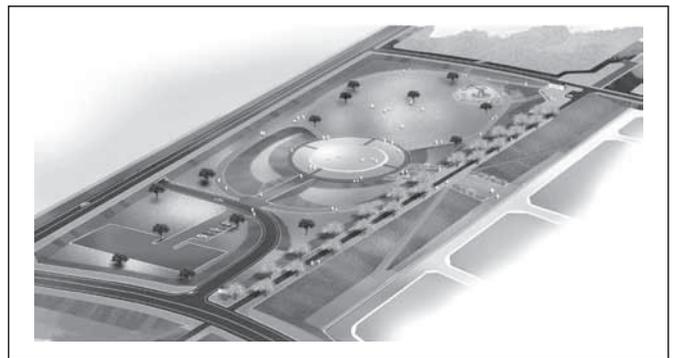


平成28年度の予算を審査する予算特別委員会（岩岡吉比古委員長）は3月7日と8日の2日間開かれ、一般会計と7特別会計の総額81億6816万円の事業内容を慎重に審査し、すべて原案のとおり可決しました。28年度予算の主な特徴としては、高台団地の造成や災害公営住宅の建設など復興における「住」の部分が27年度で完了したことを受けて、復興の重心が中心部の街並み再生に移ることが挙げられます。

都市公園事業に12億4280万円を投入するほか、防災拠点施設として城内地区と北区地区にそれぞれ避難所などの機能を備えた施設を整備します。城内地区の防災拠点施設は1階に保健センターが入り、3階の屋上に避難スペースが設けられる予定です。また、北区地区の防災拠点施設には太陽光発電を使用した蓄電システムを設置し、非常時に対応します。



造成中の都市公園



都市公園のイメージ図



単位 (円)	28年度当初予算	27年度当初予算	増減率
一般会計	6,918,145,000	9,839,440,000	-29.7%
国民健康保険事業特別会計	713,200,000	702,600,000	1.5%
後期高齢者医療特別会計	39,900,000	41,100,000	-2.9%
農業集落排水事業特別会計	51,224,000	54,445,000	-5.9%
漁業集落排水事業特別会計	8,992,000	8,791,000	2.3%
公共下水道事業特別会計	299,523,000	246,122,000	21.7%
簡易水道事業特別会計	136,155,000	154,389,000	-11.8%
国民宿舎事業特別会計	1,021,000	9,121,000	-88.8%
合計	8,168,160,000	11,056,008,000	-26.1%

～主な予算内容～

◎ハード事業◎

- **都市公園事業** 12億4,280万円
……都市公園を整備するもの。
- **復興道路事業** 3億3,376万円
……市街地を結ぶ避難路を整備するもの。
- **保健センター整備事業** 3億2,253万円
……東日本大震災により流失した保健センターを再建するもの。
- **城内地区防災拠点施設整備事業** 2億8,445万円
……被災した保健センターの整備と併せ、防災拠点や避難施設、集会所の機能を付加した施設を整備する。
- **公営住宅整備事業** 2億7,922万円
……区画整理事業区域内等に村営住宅の整備を行う。
- **土地区画整理事業** 2億3,316万円
……城内地区の土地区画整理事業を行う。
- **北区地区防災センター整備事業** 1億8,993万円
……避難困難地域解消に向けた防災センターの整備と併せ、集会場の機能を付加した施設を整備する。



賛成
討論

八幡 文耕
議員

◎ソフト事業◎

- **災害援護資金貸付事業** 3,500万円
……東日本大震災による被災者への災害援護資金を貸付けする。
- **緊急雇用創出事業** 3,271万円
……生活再生支援、水産加工品の販路拡大、村の情報発信等を行うための雇用を創出する。
- **安心子育て環境づくり事業** 3,211万円
……0歳児から2歳児までに加えて第2子以降の保育料を無料とし、子育て世帯の負担を軽減する。
- **統一的な基準による地方公会計整備事業** 1,713万円
……平成29年度までに整備の必要な「統一的な基準による地方公会計（複式簿記）」に対応するため、固定資産台帳や新基準財務書類作成システム等を整備する。
- **公共施設等総合管理計画策定事業** 1,583万円
……公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うために管理計画を策定する。

平成28年度野田村一般会計予算について、賛成の立場から討論を行います。

震災から間もなく5年を迎えます。今月には城内高台団地・新町に災害公営住宅が完成し、4月からの入居が始まります。高台団地への自力再建住宅建設、土地区画整備事業区域内にも住宅再建が進んでおります。今後は新しい地域でのよりよいコミュニティが構築されるよう願うところですが、被災者のなかには未だに仮設住宅での生活を強いられ、不便な生活をしている方々もおられます。このような状況のなか、平成28年度一般会計予算は、震災からの復旧復興がさらに加速されるよう村当局が一丸となってハード事業、ソフト事業の予算編成に取り組み、鋭意努力している姿勢が見受けられます。計上された予算が十分に反映されれば、村民が求める安心安全な村づくりに繋がるものと期待をいたしまして、賛成討論といたします。

民生費負担金

米田忠一委員 民生費負担金約754万円減額されているが、理由は。

住民福祉課長 28年度は第2子以降の保育料が無料化になることによる保育料運営費負担金の減少によるもの。

特産品関連

米田徳一郎委員 本村は特産品のほとんどが加工されないで流通され、産業振興にはつながっていないと思われる。がんばるのだから応援寄付金とさらに結び付けて行くために、村長の考えは。

村長 加工施設の整備や雇用の確保も含めてもっと進めていきたい。モノではなくて地域そのものをお礼にするというアイデアも進んでいるようなので、今後検討して行きたい。

元気発信事業

米田忠一議員 復興の絆村の元気発信事業の内容について。

総務課長 事業費は全額国からもらっている。内容は、村の状況を撮影してテレビまたはwebで流している。



めんこいテレビで毎週日曜放送している。

定住促進事業

米田忠一委員 野田村定住促進事業費補助金について。

特定課題対策課長 野田村へ定住した人が家を新築したり、購入した場合に助成するもの。家族構成によって、最大150万円になっている。

21世紀むらびくり委員会

米田徳一郎委員 委員会そのものの今後の取り扱いについて疑義はないか。

総務課長 村としては一つの案件に対して、意見を聞く重要な機関だというふうな理解をしている。

村長 皆さんから意見を出してもらいたいということが始まったが、なかなか出てこないのが現状である。しかし、今後も委員の皆さんからの意見ということを出してもらえよう協議して行きたい。

震災追悼式

八幡委員 追悼式に関して村としてはいつまで続けて行くつもりなのか。

村長 追悼の気持ちは一生続くものだと思う。行事としていつ止めるかというのは難しい問題であり、答えは申し述べる状況にはないと思う。内部でもう少し検討させていたきたい。

水産品事業

米田忠一委員 地域水産加工品販路拡大事業の内容に

特別委員会

～主な質疑を抜粋して紹介します～

予算

いる理由は。

産業振興課長 増えた部分としては、はまなすの再生支援プロジェクトとまちなか創出事業である。はまなすを使った商品開発を試みるというプロジェクトと夜市の開催やテナントへのチャレンジショップ等への支援と聞いている。

地域元気発信事業

山田委員 震災の記憶と地域の元気発信事業について。

産業振興課長 緊急対策雇用事業を導入して、26年度から実施しているもの。株式会社のだむらに委託している。内容は雇用が主目的で、人件費1名分、車の借り上げ料及び燃料費。水産加工品等の調査事業。

商工会補助金

米田忠一委員 商工会補助金が昨年より大幅に増えて



上明内村営住宅

八幡委員 今度改修する上明内住宅に関して、水洗化と同時に風呂の改修を行い、ユニットバスを導入するとは考えているのか。

地域整備課長 28年度については屋根と外壁の補修、ペンキ塗りなどで、ユニットバス、トイレなどの改修はいまのところ考えていない。

山村広場

廣内委員 山村広場の管理棟内のトイレが汚れていたり、ガラスに穴が開いている。国体に入れば、会場の玄関口として見られるので改修の予定はないか。

教育次長 軽微な改修については出来る限り改修し、清掃についても国体までに早急に行っていく。

総合センター

山田委員 総合センターのトイレにおいてベビーベットの設置は検討しているか。
教育次長 面積的に厳しく、空き部屋を使用してもらったかたちである。今後全体の改修等が必要になってきた際に検討して行く。

国体ボランティア

山田委員 国体ボランティアの募集状況はどのようか。

教育次長 これからお願いで行くことになっている。野球競技については久慈工、野田中野球部の生徒にもお願いし、運営して頂くことになるかと思う。ウォークラリーと野球、両方とも役場職員を含め、50人くらいの規模になる予定。



村政を問う

米田 徳一郎 議員

久慈工業高校の存続について

村長 魅力を高める努力が必要

米田議員 久慈工業高校の存続について伺う。

- 1 久慈工業高校の校舎制導入に対する現行維持の対案を検討されているか。
- 2 学科再編などで定員確保を目指すべきと思うか考えは。
- 3 都市部との格差をどの様に捉え、解消に何が必要と考えるか。
- 4 支援団体を新たに組織し、存続運動を展開すべきと思うか。

村長

1 本村としては復旧復興を最優先に取り組んでいる最中であり、現時点では到底受け入れることは出来ない。地域で知恵を出し合い、取り組む当面の間は、同校を存続するよう要望を行っ



久慈工業高等学校

- 2 従来の制度に新たに通学定期券の購入助成を2学年まで拡充したほか、下宿先の確保を図るため改修費30万円を限度に補助できるように、要綱を改正、予算措置を行う。
- 3 県の計画案は教育環境の格差拡大につながるものであり、統廃合を論じるのではなく、久慈工業高校と

しての魅力を高める努力が必要。

- 4 守り育てる会の活動を活性化させ、村が一体となり、存続運動を展開させていくことが重要である。

街並み再生

米田議員 旭町、本町通りの街並み再生は想定内か、課題や反省点について伺う。

村長 土地区画整備事業の使用収益開始は平成28年2月を予定。工事の進捗率は64%で、大鳥居前の1号線沿いの住宅再建の遅れが見られるが、概ね予定通り進んでいる。今後は、「にぎわいの再生」「地域コミュニティの再生」という地域



本町通りのようす

づくりが重要と考える。また、協議会の意見要望の主なものは、早期再建の為に土台作りを急げとのことであった。



リメンバーホープビレッジ「ねまーる」

米田議員 近隣商業地域に、再建される見込み数と移設された仮設店舗への入居状況、自立の見込みと支援内容について伺う。

村長 飲食店の本設再建やリメンバーホープビレッジ「ねまーる」への出店が見込まれる。また、移設した仮設店舗の入居は5件、業種は鮮魚店や自動車など多岐にわたる。本設再建についても補助金を活用した再建を促し支援していく。

村道愛宕線

米田議員 村道愛宕町線の事業化の経緯と赤線道路や集落道の箇所数及び整備計画について伺う。

村長 平成22年2月24日付で愛宕町内会から要望を受けて調査し、事業化について交渉を進めてきた。しかし、平成23年の震災で交渉を一時中断していたが、震災関連事業の進捗を見極め交渉を再開、協力が得られたことから平成26年度から新たに事業化された。また、同程度の条件を備えた赤線道路や集落道は概ね10カ所あるが整備計画については地域からの要望や現地

の状況などを勘案しながら必要に応じて検討したい。

野田村の産業

米田議員 当村の主産業は、農業と漁業が中心で経営は極めて厳しい状況に有るがその対策を伺う。

1 県北地域に換金性の高いブランド米の種子開発や開発された種子が提供されない問題について。

2 一月の低気圧被害の状況と支援策について。

3 村のブランド商品である福来豚の安定供給策について。

村長

1 県では、オリジナル品種として県農業研究センターが栽培適地として示した地域に限定しているほか、ブランド化戦略期間の平成29年度までは面積配分も高品質・良食味米生産に向けた取り組みが優れたJAに傾斜配分を行うなど、厳格な基準が設けられていることから県北地域には供給されないという状況がある。また、県北地域での新たな奨励品種の開発に向け、久慈市のほ場において現地適応性に取り組み中と伺っている。

2 2月19日現在でワカメ、ホタテ養殖施設41台、1052万4千円、生産物被害ホタテ・ワカメ3128万8千円で玉川下安家地区に集中した。支援

については最終的な被害状況が判明し次第、生産活動に支障が出ないよう関係機関と協議していきたい。

3 村内での購買傾向はコースやバラ肉など肉量の

少ない部位を求める傾向が強い、モモ肉ウデ肉の購買量が増えることが村内での安定供給につながると考える。



1月の低気圧被害のようす

婚活支援

米田議員 人口減少の要因に晩婚化や未婚志向化があると聞く。のだ恋通信事業の成果と課題、今後の取り組みについて伺う。



婚活パーティーのようす

村長 婚活支援対策として結婚相談会、婚活パーティーへの参加、セミナー事業などを実施。3組のカップルが成立している。今後も既存のイベントや交流事業との連携を図り、より参加しやすい出会いの場づくりなどニーズを捉えながら既婚率の向上を図っていききたい。



村政を問う

小野寺 光男 議員

消防団員の処遇改善は

村長 出勤手当を増額する

小野寺議員

消防団員の確保に向けて様々な処遇改善や、PR活動、入団しやすい環境整備が必要と思われる。また、若い現場職員に1年間体験入団を実施させることは、地域貢献や災害対応技術の習得にもなると思うが、どのように考えるか。

村長 今年度、出勤手当の増額に向けて、消防団と協議を重ね、1回の出勤に対し、一律2500円を支給することとした。現場職員として地域の一員であるという認識・自覚はあると思っている。状況等が許せば自ら入団するものと思っている。

小野寺議員

年報酬と出勤手当の一部を商工会や商店と連携して野田村商品券で

対応できないか、村内商店の活性化に繋がると思うが、考えは。

村長 消防団の考え方等々も考慮し、使用方法等協議しながら可能かどうか、今後検討課題としたい。

上明内村営住宅

小野寺議員 上明内村営住宅は建設され30年以上経過し、各所において改修が必要と思われる。特にトイレは早急に水酸化し入居者の生活環境を考慮して頂きたい。今後の改修や下水道整備の予定については。

村長 「野田村公営住宅長寿命化計画」を策定し、上明

内住宅は屋根や外壁に塗装の劣化が見られ、今年度から塗装工事を行っており平成29年度にかけ全棟の塗装工事を予定している。トイレの水酸化については、平成32年度までの公共下水道事業計画に基づき、順次接続整備する。



上明内村営住宅

小野寺議員 浄化槽設置での対応の考えはないか。

村長 浄化槽設置は認められない訳ではないが、補助制度がないことから、現段階では考えていない。少しでも早く下水道整備を進めていく。

小野寺議員 外壁と屋根の塗装以外の部分の改修予定はないか。また28年度中に新しく村営住宅の建設が予定されている事から、グレイドの差が生じると入居される方が減るのではと心配されるが、考えは。

村長 建設年度のずれにより一部止むを得ない部分もあるが、支障等がある部分については、それぞれ対応し少しでも早く、水酸化等に取り組んでいきたいと考えている。

復興現場見学会

小野寺議員 東日本大震災から5年を迎え、村内において復旧復興に向けて各種大型工事が施工されている。この機会に将来を担う小中学生に現場見学会を実施し、将来に役立ててほしいと思うが、考えを伺う。

教育長 学校経営の中に復興教育を位置付け、先進的な取り組みを実践してきた。今年度は中学1年生が三陸沿岸道浜山トンネルの見学会を行い、今後も現場見学会も含め、復興教育を進めて参りたい。



三陸沿岸道路建設工事のようす



村政を問う

山田 陽子 議員

創生総合戦略実現に向けた基本構想のあり方は

村長 住民の意識・意見を反映し、同じ目線で実現を目指す

区で実施し、200回以上参加人数は延べ2800人を超える。内容は各地区で決定し茶話会や健康相談、軽スポーツ、創作活動などで地域の方々の触れ合いの場として定着している。1回につき共同募金の2千円を補助している。

山田議員 人口ビジョン及び創生総合戦略の策定計画内容について伺う。

村長 アンケート調査・ワークショップの開催等、多くの方々の参画で本村における課題抽出や、取り組むべき施策等について検討を重ねてきた。それらに基づき総合戦略の方向性として、資源を生かした雇用の創出、住環境の整備、出会いや交流、外部とのつながりの深化を含めた住民コミュニティの構築等を重点項目とし、4000人規模の人口を維持することを目標とする。

山田議員 これまで10年間の計画をどのように総括し、28年度からの10か年にどう反映させていくか。

村長 野田村総合計画は前期・後期各5年の事業になっている。27年度までの後期計画の中でソフト・ハード合わせて188事業で達成したものは42で22%、継続中のものが141で75%。未達成のものが5事業3%となっている。継続中のもは精査しながら進め、未達成のものは内容を検討した上で、必要があれば達成する方向で進めて行く。

山田議員 未達成の5事業について示せ。また、住民懇談会を有意義な懇談会とし、住民と情報を共有して行くことは総合戦略を実現するために大切だと考えるが、村長の意気込みは。

村長 後期の未達成のものは、前浜の保安林関係・役場前の道路改良・プールの温水化・野田くらしの体験移住事業と移住定住促進の宅地造成事業だ。津波等で未達成で、これらは財政等見ながら今後も計画していく。住民懇談会等の活性化の為に開催時期や開催方法等について検討しながら、基本的には住民と同じ目線でこれまで同様、これからもそのような意識でやっていく。

山田議員 日向保育所及び玉川保育所の耐震診断について保育会との協議の進捗状況は。

耐震補強

村長 日向保育所については、耐震診断実施済み。診断結果は、「補強の必要性あり」、保育会で改修検討を進めている。玉川保育所は今後実施検討する。いずれにしても保育会と協議しながら進める。

山田議員 「ふれあいいきいきサロン事業」について年間を通じ定着・充実してきたというのだが、これまでの実施内容と成果及び予算の内訳については。

いきいきサロン

村長 平成10年から、野田村社会福祉協議会で地区の公民館等を利用し実施している。平成27年度は21の地

区で実施し、200回以上参加人数は延べ2800人を超える。内容は各地区で決定し茶話会や健康相談、軽スポーツ、創作活動などで地域の方々の触れ合いの場として定着している。1回につき共同募金の2千円を補助している。

山田議員 参加していない方々に対する対策については。

村長 そのような方々には見守り訪問等の際に声掛けをしながら、参加してもらえるように努めていく。

気象災害対策

山田議員 今回の低気圧対応は、行政だけでは限界があったと危惧するが、実情をどう捉えどのように対策して行くか。

村長 行政だけでは迅速な対応は難しいのが事実で、日頃から村民一人ひとりが防災に対する意識を高めていただくことに加えて、出

来るだけ多くの村民の協力を得ることが重要だ。災害時の避難等に支援の必要なる方の確認と支援体制づくりの検討作業を進めている。

山田議員 最近の気象予報に関して、低気圧による暴風等は、警報が解除されてから強くなる傾向がある。観測の精度を上げてもらう対策はないのか。

村長 気象庁の最新の技術と設備をもってしても、的確に予報することは難しい。

生涯学習

山田議員 生涯学習をどのように捉えているのか、また学校教育との違い、併せて現在取り組んでいる生涯学習事業については。

教育長 生涯学習とは、学習者の個人が自由な意識に基づいて、それぞれに合った方法で生涯にわたって学習していくことと捉える。学校教育は、児童生徒が生涯にわたって学習を行

うことができる知識や能力と自ら学ぶ意欲や態度を育てる事と考える。キッズセンター事業やスポーツ体験学習事業、成人対象はいきいきライフ事業で27年度は、エアロビクス・ヨガ・ストレッチボール教室や星空観察会・登山・ハイキング・クリスマスリース作り、料理教室など多種多様な事業を実施している。

山田議員 様々な事業の中で成人対象の事業はスポーツ教室関係が多いが、これらを独立したかたちで1団体として組織化をすることも重要ではないか。

教育長 団体・住民等から要望があれば協議のうえ対応・検討して行く。

山田議員 村では生涯学習大会が開催されているが、この大会は主に児童生徒にシフトされていると感じるが、成人対象の事業を中心に開催が必要だと考える。また、社会指導主事と言う、専門性の高い職員を積極的に活用し、生涯教育の充実を図るべきと考えるが。

教育長 これまでの社会の大きな変動の中、各自治体の大会等の持ち方も変わってきた経緯がある。社会指導主事については、平成17年度まで県教委で市町村に派遣してきた。法改正により1万人未満の町村の場合には努力義務規定となったため本村の場合配置はない。しかし機会あるごとに要望している。



さけ稚魚放流のようす

男女共同参画

山田議員 地域における共同参画の推進の実状は、なかなか進んでいないようだ。

国は、女性の社会的活躍を重要な課題とし、これまで以上に女性の力を活かした社会を目指し積極的に推進している。この事と、男女共同参画は関連性があり、これから進める「野田村まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても重要な観点でこれらを総合的に考えたととき、男女共同参画の実現を積極的に推進すべきではないか。

村長 国では、女性活躍推進法を定め、女性の力を活かした社会の創造を目指している。村としても委員会等への女性の参画など、女性の活躍する機会の形成に努めている。平成20年3月には「野田村男女共同参画基本計画」を策定、同年6月に計画に基づいて設立された野田村男女共同参画推進協議会と連携し、地域における男女共同参画の推進に努めてきた。今後は、協議会との活動と連携を強め、積極的に推進するほか、平成29年には見直しを行う。その作業等を通じ、計画とその理念についての周知も図りつつ、住民、企業など

それぞれが理解を深められるよう意識啓発に努める。

山田議員 平成28年から10か年の野田村総合計画に男女共同参画のことが組み込まれていないが、なぜなのか。

村長 震災後の昨年2月に再スタートしたことから男性も女性も一緒に協力しようと言うそれぞれの意識が一番大きいので、息の長い活動を続けながらこの共同参画が、実現するために村として努める。

スポーツ事業

山田議員 主体的に企画運営する事の出来るスポーツ団体の育成に向けた制度の普及・啓発についてどのように考えているのか。

教育長 スポーツ団体より、新たな企画や要望があれば支援していく。



村政を問う

宇部 武典 議員

デマンド交通（予約型乗合交通）の導入は

村長 新たな交通体系の検討を進める

宇部議員 高台団地・公営住宅と診療所や商業施設等とを結ぶデマンド交通などを工夫する必要があると考えが。

村長 村営バスのルート見直しを含め、新たな交通体系の検討を進めることとしている。

被災者生活 再建支援金

宇部議員 被災者生活再建支援金500万円への引き上げについては、今後さらに国に要望を強めて行くことがもとめられているが。



村営バス

村長 政府答弁にも留意しつつ、関係機関と連携しながら、機会を捉えて要望をしていく。

宅地無償貸与

宇部議員 防集事業における住宅宅地無償貸与について村の考えはどうか。

村長 宅地貸与の要望はなかった。残りの一区画については、借地も選択肢の一つになる。

生活支援員

宇部議員 新たなコミュニティ構築の課題に対応するように、新町集会所への常駐など、支援員の活動スタ

イルを工夫してはどうか。

村長 これまでのように社協事務所を拠点に活動し、各地区の要望を聞きながら地区に寄り添ったものにしていく。

応援職員 の確保

宇部議員 来年度の応援職員など人材確保の見通しは。

村長 平成28年度の必要数は27名だが、現在人材数は20名。事業実施に支障なきよう確保に努める。

住宅再建

宇部議員 住まいの再建方法が未定となっている世帯が5世帯あるようだが、実態と見通しは。

村長 みなし仮設住宅としてアパートなどで暮らしている被災者で、災害公営住宅や自立再建も希望していない世帯だ。



派遣任期を終えて（3月撮影）

低所得者支援

宇部議員 平成27年度から実施されている低所得者対策のための国の財政支援1700億円は野田村にはどのように及んでいるか。

村長 今年度野田村には「保険基盤安定負担金」として約520万円が交付されるが、これは保険税軽減措置分に対して交付されるものだ。

国保税

宇部議員 国保事業の都道府県化に伴い、平成30年度以降は都道府県に「財政安定化基金」が設置される。平成26年度で村の国保基金保有は4700万円余り（一人当たり3万円余）になる。これを国保税引き下げに活用できないか。

村長 村の国保基金は引き続き残るものと認識しており、これは国保事業の推進に充てるもので、現在のところ国保税の引き下げに活用する考えはない。

マイナンバー

宇部議員 番号が通知されていない人は何人で、個人番号カードの普及状況は。また、不安や疑問の声はないか。

村長 2月25日時点で18世帯22人分となっており、申請済みが209人、そのうちカード交付を受けた人は74人である。使用場面についての問いが最も多い。

宇部議員 個人情報とマイナンバーが一体で記載されているカードを持ち歩くのは危険だ。海外での漏えい等の事例を見ても、この制度は中止・凍結し、廃止に

向けた検討が必要。村としてもその声を上げるべきだ。



ばあぶる祭りのようす

村長 マイナンバー制度は法律に定められているもので、本村としては遺漏のないよう着実に事務を進めてまいりたい。

高校再編

宇部議員 県立高校再編計画は、岩手の後期高等教育について、全国標準に頼るだけでなく岩手の風土や社会環境に合わせて計画すべきだ。これからの取り組みについて伺う。

村長 復興に取り組んでいる中で「統合」との考えが示された。定員確保に向け知恵を出し合い取り組む当面の間、久慈工業高校を存続させてほしい、と署名もあわせて県教委に要望しているところだ。

安保健法

宇部議員 法成立後も戦争法を支持していない国民が多数いる。この声を受けて野党五党は共同で安保健法廃止法案を提出した。こう

した一連の動きについて村長はどのように受け止めているか。

村長 様々な活動が起こっていることは承知している。国政の場はもちろんあらゆる機会において国民の前で真剣に議論が行われることを期待している。

総合策定計画

宇部議員 現在1・85の合計特殊出生率が平成32年以降は2・6まで上昇することが前提となつて、野田村の総合人口の将来展望が推計されている。2・6という数値は昭和60年の2・41以降久慈圏域でも一度も達成したことがない数値だ。

小さくてもキラッと光るオンリーワンの村を目指して堅実な村づくりに取り組むほうが現実的ではないか。今度の「野田村総合計画」

の意味について伺いたい。

村長 確かに大変厳しい数値目標だ。しかし、村の姿勢として、結婚から出産、子育て環境の充実を図っていくことにより目標に近づけていくことが重要と考える。将来にわたって4000人規模を維持するための努力目標として若い世代のニーズにこたえながら着実に事業を展開していきたい。

保育料無料化

宇部議員 平成28年度から国が保育料の無料化を拡充実施する。これは村と国の保育料無料化が重なる部分が生じ、国の新措置は村独自の無料化拡充になることから、野田村においては早期の保育料全部無料化を目指すべきと思うがその見通しは。



人権擁護委員による保育所訪問

村長 保育料はいずれすべて無料化したいと考えており、今後も国の軽減策など

の動向を注視し、村の財政を勘案しながら検討を継続していく。

行政のギモン？

Q. 指定管理者とは？

A. 地方公共団体の指定を受けて公の施設の管理を行う法人その他の団体をいう。

地方公共団体は、公の施設の設置目的を効果的に達成するため必要があると認めるときは、条例の定めるところにより、法人その他団体であつて地方公共団体が指定するものに当該公の施設の管理を行わせることができる。一層向上したサービスを住民が享受することとなり、ひいては住民の福祉がさらに増進されることを期待する。なお、指定管理者の指定を行う時はあらかじめ議会の議決を得なければなりません。

(地方自治法より抜粋)

野田村の例：ぱあぶる、えぼし荘、農村公園等



討論

請願第1号

安全保障関連法案の強行採決に抗議し第189回国会で成立した安全保障関連法の廃止を求める請願

本会議では、請願第1号に関して賛成、反対の立場からそれぞれ2人ずつ、計4人の議員が討論を行いました。

古舘 幹男 議員

賛成

宇部 武典 議員

日本は、この地球上で唯一の被爆国であり、第二次世界大戦の敗戦を経験しています。その結果として現在の日本国憲法が成立したものと思います。この憲法のおかげで戦争に巻き込まれることがなく過ごしてきたと思います。戦争にルールはありません。自衛隊は兵隊ではありません。憲法を変えない限り武器を持つことはできません。現行の憲法解釈で成立させた法案だから多くの方が反対し、全国で行動を起こしました。日本だからできる方法があるはずです。いかなる理由があろうとも戦場に行くような可能性のある法案は廃止すべきと考えます。

強行採決に抗議し、法案の廃止を求める意見書を提出して欲しいということが請願の主旨であります。憲法学者たちは憲法違反だと述べている中で憲法を無視しているという危惧から全国津々浦々で廃止の運動が起きております。多くの国民の可決成立に反対する声が多い中、あのような形で採決されたことは遺憾であり、安保関連法は廃止が適当であると考えています。国会多数で決定しても効力を有しないという憲法98条も考慮しながら、賛成討論とします。

VS

八幡 文耕 議員

反対

米田 徳一郎 議員

国民の代表として選ばれた方々が議論に議論を重ね決定した重いもので、むやみに廃止する必要がないと訴え反対しております。あれから3カ月あまりが経過しますが、国の動き、国民にも変化が感じられません。変化しているのは夏の参議院選挙に向けての野党5党首の動きで、理解に苦しみます。こうしたなかで私はさらに強い意志のもとに、請願第1号を採択することに反対いたします。

国民の大多数の支持を得た国会議員が議論を尽くし、採決されたことは国民の大多数の支持を得たものと理解しています。また、私は諸外国の脅威を心配しつつ、有事の際に同盟国頼りで国民の生命を守れるのか心配です。政府はさらなる安全保障や憲法改変の時期を見極めつつ、今できる憲法解釈をし、法案を提出したものと解釈しています。安全保障関連法は決して戦争法でもありませんし、政権維持の法律でもない。戦争放棄を立憲しても国を守るのが自国民であり、同盟国に安全を委ねても国民の安全安心は確保できないと思っております。戦争法と言い、子や孫を戦争に行かせるかと訴え、反対運動を先導する本請願には賛成できないことを表明し、反対討論といたします。



賛成4人、反対7人で不採択（15ページ参照）

2月臨時会 & 3月定例会採決一覧表

○賛成 ×反対
 ※議長は採決に参加しない

会議	議案番号	議案内容	宇部武典	岩岡吉比古	古館幹男	八幡文耕	山田陽子	内野澤進	米田徳一郎	米田忠一	小野寺光男	中川大和	廣内和之	貳又正人	結果
臨時3 会回	承認第1号	野田村税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第1号	都市公園事業整備（4号）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第 3 回 定 例 会	議案第1号	平成27年度野田村一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第2号	平成27年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第3号	平成27年度野田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第4号	平成27年度野田村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第5号	平成27年度野田村漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第6号	平成27年度野田村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第7号	平成27年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第8号	行政不服審査会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第9号	野田村行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第10号	情報公開条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第11号	個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第12号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第13号	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第14号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第15号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第16号	野田村議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第17号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第18号	一般職の職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第19号	野田村税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第20号	野田村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第21号	野田村手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第22号	野田村村営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第23号	野田村消防団委員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第24号	字の区域の変更に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第25号	野田村村内地区保健センター・防災拠点施設建設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第26号	野田村北区地区防災センター建設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第27号	村道路線の認定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第28号	村道路線の変更に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第29号	野田村固定資産評価委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
	議案第30号	平成28年野田村一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第31号	平成28年野田村国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第32号	平成28年野田村後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第33号	平成28年野田村農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第34号	平成28年野田村漁業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第35号	平成28年野田村公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第36号	平成28年野田村簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第37号	平成28年野田村国民宿舎事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
請願第1号	安全保障関連法案の強行採決に抗議し第189回国会で成立した安全保障関連法の廃止を求める請願	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	不採扱	

東日本大震災津波復興特別委員会

～県道野田山形線 & 新町災害公営住宅視察～

東日本大震災津波復興特別委員会（岩岡吉比古委員長）は2月15日に県道野田山形線工事の様子を、3月8日には新町地区の災害公営住宅をそれぞれ視察しました。

今後の議会活動に生かすべく各担当者の説明に熱心に耳を傾けました。

◎ 議会の動き (12月～2月) ◎

《12月》

- 12月13日 下安家地区コミュニティセンター竣工式
（下安家地区コミュニティセンター）・・・議長
- 12月14日 知事を囲む会（岩手県自治会館）
中野久氏の総務大臣感謝状を祝う会・・・議長

《1月》

- 1月5日 野田フレンドワーク総会（えぼし荘）・・・議長
- 1月7日 野田分署建設安全祈願祭（現地）・・・議長
- 1月10日 野田村消防出初式（体育館）
第64回成人式（総合センター）・・・全議員
- 1月11日 洋野町誕生10周年記念式典
（洋野町・セシリアホール）・・・議長
- 1月13日 野田村商工会50周年記念式典（えぼし荘）
・・・全議員
- 1月28日 岩手県町村議会議長会定例監事会・理事会
（岩手県自治会館）・・・議長
- 1月31日 米田部落会初午祭（米田地区集落センター）
下明内地区初午祭（下明内地区構造センター）
・・・議長

《2月》

- 2月6日 野田村生涯学習大会（総合センター）・・・議長
- 2月7日 上明内初午祭（上明内地区活性化センター）
泉沢部落会初午祭（泉沢公民館）・・・議長
- 2月14日 南浜部落会初午祭（南浜地区コミュニティセンター）
久慈市市政施行10周年式典（アンバーホール）
・・・議長
- 2月17日 北部地区町村議会議長会県議との懇談会
（盛岡市グランドアネックス）・・・議長・副議長
- 2月19日 岩手県町村議会議長会定期総会
（岩手県自治会館）・・・議長
- 2月21日 下安家地区初午祭
（下安家地区コミュニティセンター）・・・議長
- 2月26日 県北8市町村長・議長の懇談会
（アグリパークおおさわ）・・・議長
- 2月28日 門前小路地区初午祭（門前小路公民館）
・・・議長



県道野田山形線工事視察のようす（新町高台付近）



災害公営住宅視察のようす①



災害公営住宅視察のようす②

あとかき

この春には、来年完成する公園の第3堤に桜の木が植えられました。村民の念願であった桜並木が数年後には見事な花を咲かせ、震災からの復興のシンボルとなるでしょう。その時はぜひ桜の下を、「散歩」それとも「ジョギング」？

いや、やっぱり「花見で乾杯」でしょうかね。今からそんなことを考えているのは私だけですか？（山田）

議会広報編集委員会

委員長 小野寺 光男

副委員長 山田 陽子

委員 宇部 武典・古舘 幹男・米田 徳一郎
廣内 和之